



「私たちの子供の学校」の運動会ありがとうございました

副校長 渡辺賢志

十月九日(土)、多くの皆様の御支援のお陰で、「令和三年度運動会」を実施することができました。様々な御理解・御協力をありがとうございました。今回の運動会に際しましては、昨年度の参観者数や校庭の密の度合い、新型コロナウイルスの感染者数の減少傾向等の動向を鑑み、学年ごととに時間を変えつつ、参観者の人数を増やして行いました。子ども達も保護者も嬉しかったという声が多かった半面、学校としては非常に判断が難しい運動会でもありました。その際、非常にお力を貸していただけたのが地域の方々や保護者の皆様でした。

地域教育連絡協議会兼学校運営協議会の委員の方々やPTA役員の方々、おやじの会の方々には、事前にどのような形で運動会を開催すればよいかについての御意見をいただきながら企画しました。また保護者の皆様におかれましては、事前の子供たちへ励まし、当日の御参観や子供たちへの激励、運営に係るお仕事のボランティア等行っていたいただきました。様々な方々の御尽力があったからこそ今回の運動会が実現できました。実施後のアンケートでは、480通を超える提出をいただきました。読ませていただく中で、子供たちにとって運動会がどれほど大切なものかについても改めて実感しました。ありがとうございます。

今回、大田区から児童及び教職員一人一人に貸与されたタブレットPCを用いて、各クラスへ他学年の競技・演技の様子を放映しました。昨年度と同様、著作権や個人情報保護の関係で、各御家庭に配信することはできませんでしたが、昨年の経験を生かし、PTA会長とおやじの会の方々、並びにタブレットPCを日ごろから活用している教員の連携で、校庭の様子を教室でほぼリアルタイムに見ることができました。

また、受付や参観者の入れ替え、見回りや近隣への配慮等について、PTA役員をはじめとした委員の皆様、おやじの会の皆様には大変ご協力いただきました。そして、参観してくださる、久原小学校の子供たちの様子、まさに久原小学校そのものの様子を見てくださった地域の皆様、保護者の皆様にも、改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

教育目標
歴史を誇る久が原の大地に 深く根を下ろし桜のように明るく 潔く、樺のように天高く伸びてゆく
久原小学校に学ぶ子は、
一、健康な子 二、考える子 三、やさしい子 四、礼儀正しい子

域運営学校」とは、学校と地域住民等が力を合わせ、子供たちのより良い環境づくりに取り組む「地域と共にある学校」を目指すものです。この地域に住む子供たちのために、地域・保護者・学校が一体となって協働的に教育活動を進めていきたいと考えています。皆が久原小学校の子供たちについて「一人一人の子供が自分たちの子供である」という意識をもっていたらいいことを望んでいます。今回の運動会では、その姿が少しずつ具体化されてきているように感じ、大変嬉しく思いました。

「令和二・三年度大田区教育委員会研究協力推進校」研究発表会について

今月十五日(月)、本校にて研究発表会を行います。久原小学校では平成三十年から体育を中心として研究を進めてまいりましたが、令和二・三年度に、大田区教育委員会との研究協力推進校としての指定を受けました。そこで、「豊かなスポーツライフを築く子ども」の育成をテーマにして体育・保健・食育並びに体力向上に関する研究を進めてまいりました。「運動する楽しさを感じながら、すすんで運動する子ども」「健康についての正しい知識を身に付け、自分の生活に生かそうとする子ども」の育成を目指して取り組んできた実践等や、体育における安全教育について、大田区立学校の教員を中心に、授業公開や研究紀要、体育館においてプレゼンテーション等を用いて発表します。

11月の主な予定

日	曜	予定	備考	日	曜	予定	備考
1	月	放送朝会 委員会活動(後期開始)		17	水	B時程	
2	火	B時程5時間 町探検(2)	SCS	18	木	遠足(5)	SCU
3	水	文化の日		19	金	B時程 友禅染体験(4)	
4	木	町探検(2)	SCU	20	土		
5	金	放課後算数補習(3)		21	日		
6	土	学校公開4時間 算数土曜補習		22	月	放送朝会 クラブ活動	
7	日	東京都教育の日	ス	23	火	勤労感謝の日	
8	月	放送朝会 安全指導 委員会活動		24	水	B4時程 児童集会	
9	火	避難訓練	SCS	25	木		SCU OP☆
10	水	B時程4時間		26	金	特別時程4時間 就学時健診	
11	木	B時程5時間	SCU	27	土		
12	金	B時程4時間		28	日		
13	土			29	月	放送朝会 委員会活動	
14	日			30	火		SCS
15	月	研究発表 特別時程					
16	火		SCS				

(備) SCS: 佐々木スクールカウンセラー来校 SCU: 浦山スクールカウンセラー来校 校: 校庭開放

校長室オープンデー OP★:10時~12時 OP☆:16時~18時 ス:スポーツ開放(12時45分から16時まで)

〈四年生の窓〉

「久原エイサー」とこれから

小林 三和子

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、四年生の一学期は、学年で取り組む行事が何もできませんでした。遠足も社会科見学も中止になり、天候不順で水泳もニクラスしか行えませんでした。そのような四年生の子供たちにとって、運動会は心に残る大きな行事になりました。

四年生の表現は、「久原エイサー」です。一々三年生の時は、「パプリカ」や「ヒカレ」など、軽快なリズムの明るい曲を楽しく踊ってきました。「エイサー」は、初めて踊る民舞でしたので、曲を聴いた子供たちがどんな反応を見せるのか、楽しみでもあり、心配でもありました。でも、その心配は、杞憂に終わりました。「難しそう。でも、かっこいい。」そういう声が多く聞かれました。頭によく踊りたいという気持ちを高めました。そして、どの子どもとても意欲的に練習に取り組み始めました。

一か月ほど前に、各クラスのダンスリーダーを決めました。ダンスリーダーは、ダンスを先行して覚えたり、グループの友達にダンスを教える役割があります。大変で重要な役割です。そのダンスリーダーをやりたいという希望者が、定員（グループ数）を超えるほど集まりました。子供たちのやる気を、とても嬉しく、また、頼もしく思いました。今年「久原エイサー」は、バンブーダンスも取り入れました。「タンタン、トン」のリズムに合わせて、開いたり閉じたりする竹の棒の間をリズムカルに跳ぶ踊りです。最初は、竹を閉じずに開いたままのところを跳ぶことから始め、だんだんにレベルアップしていききました。向かい合わせで跳んだり、二人で一緒に同じ動きを試みたり、グループごとに跳び方を工夫しました。

体育の時間だけでなく、休み時間も練習したり、家で先生の作ったお手本動画を見ながら踊ったり、今まで練習したことの結果を見せようと、本番で、子供たちは更に頑張りました。体を大きく使って踊ること、腰を低く落とすこと、大きな声で掛け声を言うことなど、それぞれが自分の課題やめあてに向かって、六分間を踊りきりました。それぞれの叩く太鼓の音が一つに聞こえた時、みんなの心も一つになった気がしました。また、バンブーダンスでは、練習の始めのころ、挟まれまいと足ばかりに気を取られていた子供たちが、本番で楽しそうに跳んでいたのが印象的でした。

運動会では、他学年の演技も見て学ぶことが多くありました。五年生の「ソーラン節 翔舞」の迫力ある踊りを見て、子供たちから「四年生とは比べ物にならないくらい上手で、キレもよいから、来年、自分たちがこまでできるか心配。だから、来年はもっともって頑張る。」という感想が多く聞かれました。

また、六年生の組体操「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」を見た後には、次のような感想を書いていました。「最後がこんなコロナ禍でも、いっしょけんめいやって、協力し合って最高の運動会にしようと思う気持ちが強くて、それが、画面を見るだけで伝わってきました。下の人も重くて大変で、上の人はこわくてみんなそれでもできていたので、心が一つになっているなと思いました。どんなに難しくても立ち向かう六年生、あこがれます。」

上級生の演技から、たくさんさんの刺激を受けて、新たな目標をもった四年生のこれからの成長が楽しみにになりました。

音楽祭に向けて

音楽祭委員長 大滝 史子

コロナ禍で大田区の連合音楽会は二年連続中止となりましたが、久原小では感染対策をとって来月音楽祭を実施します。この状況下で実施するため、歌や吹奏楽器の演奏はせず、学年2分割で合奏中心に行います。

四・五・六年生は夏休みにオンラインで演奏を提出する課題を出しましたが、夏休みの時間を使って日頃の授業以上にやり遂げた児童もいました。各御

家庭の御協力に感謝いたします。

発表内容ですが、どの学年も日常の学習を生かした内容にしています。一年生は学年のスローガンでもある「きらりん」を合奏で表現します。キーボードと楽器の音の重なりを楽しみながら演奏します。二年生はリズムや旋律のカノンで音の重なりを楽しんで演奏します。三年生は昨年鑑賞して良さを味わった曲を合奏します。四年生は各旋律の役割や重なりのおもしろさを感じて演奏します。五・六年生は鑑賞で学習した吹奏楽やオーケストラの曲そのものを演奏します。五年生は打楽器や旋律の重なり方や調の変化がもたらす曲想の変化を感じて演奏します。六年生では多数の旋律の重なりや拍子や速度が目まぐるしく変化する曲を表情豊かに表現します。そしてどの学年もボディーパーカッションや身体表現を発表します。また、クラブではメドレーに挑戦します。

音楽の楽しさをお届けできるよう皆が頑張っています。今年ならではの音楽祭をどうぞお楽しみください。

進んで仕事をしよう

生活指導部 江口 隆太

私たちの身の回りには、非常に多様な職業が存在し、様々な仕事が存在します。そして、その全てが私たちの生活を支えてくれています。

十一月二十三日は勤労感謝の日です。この日は、普段私たちの生活を支えている人たちへの感謝を伝えたり表したりする日です。子供たちにとっても、自分にできる方法で、感謝の気持ちを表してほしいと考えています。

また、それは学校生活の中でも同様だと考えています。係や掃除、給食などの当番、委員会活動など、様々な「仕事」があります。それぞれ担当し、「働く人」がいることで、過ごしやすい学校が保たれています。そのことを理解した上で、進んで仕事に取り組みめるような子供たちに育ってほしいと思っています。

生活目標	進んで仕事をしよう。
給食目標	感謝の気持ちをもって食事をしよう。
保健目標	良い姿勢で過ごそう。
安全目標	安全な遊び方や遊び場を考えよう。